

森林作業システム高度技能者育成研修 (タワーヤード研修) ご案内

1. 研修の目的

本研修は、**安全で効率的なタワーヤード方式による架線作業を実施するために必要となるタワーヤードの知識等を有した高度技能者（高度架線技能者）の育成**を目的とした研修で、架線作業に従事する林業架線作業主任者を対象としています。

高度技能者とは、森林施業の効率化を提案できる高度で専門的な知識と技術を有する者を言います。

2. 研修の内容

- ◆ 安衛則等の法令や力学に基づいた安全作業の知識
- ◆ 生産性を左右する、効率的な架線計画の知識
- ◆ 生産性を意識した架線配置や架線・撤収方法の知識
- ◆ I C T 等先端技術の活用に向けた知識 等

受講料は無料、研修教材（右図教材）を**無料で配布**



お問い合わせはこちら

 一般社団法人 日本森林技術協会
Japan Forest Technology Association

〒102-0085
東京都千代田区六番町7

本業務の専用ページ



電話：03-3261-5497 e-mail：ginouikusei@jafta.or.jp

研修の実施・受講等の手続き・案内については、本業務の専用ページをご覧ください

3. 受講生の参加資格

- タワーヤードによる架線作業に必要な技能を習得しようとしている者
 - 林業架線作業主任者免許を有している者
 - 架線作業の実務経験を有している者（タワーヤードの実務経験は問いません）
 - 労働災害補償保険の適用を受けている者（個人事業主は問いません）
- ※ 研修受講後、5年以上就業できる者

4. 研修のカリキュラム



架線集材の熟練技能者を講師に、現地実習を主体としたカリキュラム



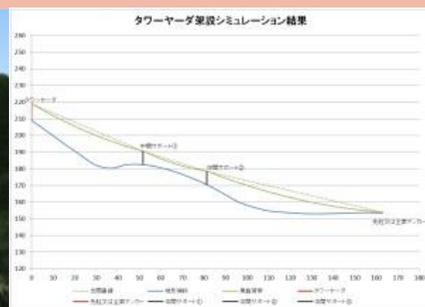
現地見学・実習



架線計画演習

【中間サポートを含んだ架線計画】

架線シミュレーション等による架線計画結果を基に、中間サポートを含んだ架線計画の考え方を習得できます。



5. 研修修了者からの声

- 写真や動画を見ることでたくさんの情報を得ることができた。
- 作業方法や安全に対する知識が再確認できた。
- 座学をやってから現地に行き、ガイラインの張り方が良く分かった。
- 今後、現場の生産管理のためにデータを活用する習慣をつけたい。
- GIS等の様々な先端技術を組み合わせることで計画や監理が効率化できることが分かった。
- タワーヤード単体で考えるのではなく、システム全体で捉えるべきだと改めて痛感した。